各　　位

2026年11月13日

会社名　株式会社　精工技研
代表者名　代表取締役社長　上野　淳
（コード番号 6834　東証スタンダード）
問合せ先　取締役管理部長　斎藤 祐司
（TEL.　047　－　388　－　6401　）

2027年３月期　通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年８月10日に公表いたしました2027年３月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2027年３月期 通期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	41,000	12,000	12,100	9,200	205.83
今回修正予想（B）	44,000	14,000	14,000	10,000	223.73
増減額（B－A）	3,000	2,000	1,900	800	
増減率（%）	7.3	16.7	15.7	8.7	
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	30,087	7,733	8,139	6,210	139.13

２．修正の理由

現在、生成AIの普及拡大を背景として、米国を中心に世界各地でAIデータセンターの建設・増強投資が進められています。電力不足や環境破壊への懸念から一部に減速感が生じているものの、大手ハイパースケーラー各社は数十兆円規模の投資計画を維持しており、市場全体としては中長期的に拡大基調が続くと見込まれています。

このような市場環境のもと、データセンター内外の高速・大容量通信を支える光コネクタの需要が急増しており、当社グループが製造・販売する光コネクタや光コネクタ研磨機、測定装置の受注は増加ペースが加速しています。

受注の増加と並行して生産キャパシティの拡大に取り組んだ結果、下期の売上高は前回発表予想を上回る見込みとなりました。付加価値の高い製品の売上が増加する見込みであることや、生産設備の稼働率向上により収益性も改善する見通しとなりました。

以上の状況を踏まえ、2027年３月期の通期連結業績予想を上方修正いたします。

※　上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上